



## 発行にあたって

会員校の皆様には、ご健勝の事とお慶び申し上げます。  
 今年度から発行を開始した広報北専各連メール便で旬な話題をお届けします。  
 猛暑の夏が過ぎ、すっかり秋の気配となりました。令和6年度の学生募集にご努力のことと存じます。少子化が進む厳しい社会環境ですが、会員校が力を合わせて専修学校、各種学校の振興に努めて参ります。今後ともご協力を賜りますよう、お願いいたします。

理事長 吉田 松雄

## 》》トピックス

### ■ 第65回「北海道私立専修学校各種学校教育研修大会」(全国専修学校各種学校総連合会北海道ブロック会議)を開催

令和5年9月11日、12日の両日、ホテル黒部(北見市)において「社会の変化に対応した職業教育」を大会主題に掲げ、第65回教育研修大会を開催いたしました。

(主管:北見支部)

#### <開会式>

道内専修学校各種学校関係者82名の出席のもと、大会長である吉田松雄北専各連理事長



があいさつに立ち、職業実践専門課程に対する道の補助制度が創設され今後も増額に向けて努めていく、さらに高等専修学校についても、同じく国からの支援を得ることを要望していくとお話がありました。専門学校卒業生の84%は地元就職しており、地域に根ざした専門学校、高等課程も含めた専修学校が地域創生という観点から大変重要な役割、社会貢献をしており、これからも北海道のために、皆さまのご支援とご協力をお願いすると述べられました。

続いて、本大会の実行委員長である柏尾北見支部長から、専修学校を取り巻く様々な状況、特に高等専修学校の状況について触れ、新たな支援を求めていくとし、最後に、この大会において、会員相互の交流を深め、皆さまに新しい刺激と知見を持って学校に戻って頂き、新たな職業教育の発展に寄与できればと考えていると述べられました。

この後、赤池誠章参議、浅野目北見市副市長、全国専修学校各種学校総連合会の福田益和会長からご祝辞をいただき、講演に移りました。



<講演>

**講演Ⅰ** 「専修学校・各種学校をめぐる最近の動向」

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室長  
中安 史明 様



中安様からは、来年度の概算要求の新規事業として、①地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業②専修学校の国際化推進事業③高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業についてお話があり、続けて、文部科学省の専修学校等に関わる事項として、専修学校の施設・設備の整備の推進、修学支援新制度の見直し（機関要件の見直し、中間層への拡大）、貸与型奨学金の代理返還、留学生の在留資格の柔軟化（外国人留学生キャリア形成促進プログラム）、私立学校法の改正、寄附行為の改正などについてご説明をいただきました。

**講演Ⅱ** 「専修学校・各種学校の現状と課題」

全国専修学校各種学校総連合会参与 菊田 薫 様

菊田様からは、私立学校法改正に関わり、専修学校でこれから取り組むべき事項等について、ご説明をいただきました。

**講演Ⅲ** 「前例が無くてもやってみる～新しい道へのチャレンジ～」

2023年世界ミックスダブルスカーリング選手権銀メダリスト  
谷田 康真 様

谷田様は、小学校5年生の時に出身地の名寄りに新しく出来たカーリング場に知り合いから誘われて行ったことがきっかけでカーリングを始められ、高校時代まで夏は野球、冬はカーリングという生活を送られました。大学でカーリングに取り組むため、大学にカーリング部の創設を要望して入学し、大学時代は冬季ユニバーシアードの日本代表として活躍するなどしておりましたが、チームメイトとの今後の進路や競技に対する考え方の



違いから4年生の時にクラブチームに加入、卒業後も競技としてカーリングを続けていきたいと願い、就業しながら競技を行うことを目指しました。当時は競技中心で活動している選手はほぼおらず、国内外への遠征で長期間職場を離れることなど就職するには高い壁でしたが、面接において競技を続けたいこと、また会社に貢献していきたい旨を、情熱を持って伝え、現在の会社に入社されたそうです。その後、コンサドーレに加入し競技環境も整い、さらに混合ダブルスも始め、2種目で北京オリンピックを目指しましたが出場は叶いませんでした。そこで2026年のミラノコルティナオリンピックを目指し混合ダブルスに専念することとし、今年4月に世界選手権で銀メダルを獲得しました。

谷田様はこれまで得たこととして、前例のないことで正解・不正解はない、前例のない挑戦は自分と他人の心が壁になる、応援してくれる人たちの為に頑張る、目的をチームで共有することの大切さを学び得たとして、これから次世代の子供たちに夢を与えていきたいとお話されました。

**講演Ⅳ** 「北見ハッカを活用したビジネスと地域との関係性

～北見ハッカ通商のレジリエンスとイノベーション～」

(株)北見ハッカ通商代表取締役 永田 裕一 様



永田様から、北見に何故ハッカが根付き、世界に誇れる産業になったか、そしてその後ハッカ産業が縮小していった歴史を紹介され、その北見のハッカ史こそ北見の特色であり、その灯を消したくない思いで北見ハッカ通商を立ち上げられ、様々な課題や取組をお話しいただきました。

会社の黎明期には、食品添加物としての認可取得、眠気防止や防虫など販売ポイントの付加やハッカ油にペパーミントグリーン色をつけるなどに取り組み、

さらにメインの商品であるハッカ飴について、ハッカについての認知度のアップ、マーケティングより実売を重視、納品数を少数にするなどの工夫を重ね、メインの商品が育つまで新製品は出さない方針で臨みました。

その後、物産展の活用、ネット販売を通じて得た声を反映した商品づくりに取り組み、社屋の移転、札幌営業所を開設しました。この時期、取引先が売れるまで棚に置いてくれた、メディアに取り上げられたなどラッキーな面もあったとのことでした。

次なる成長のため、OpenFactoryでの誘客、人材確保のための福利厚生施設などを充実させた社屋・工場を新設し、チョコミントをメインとした新商品の販売を始めた矢先、コロナが発生し、自社販路が壊滅的打撃を受けました。しかし、マスクにミントがいいというSNSの発信から反響があり大幅に受注が増えましたが、資材不足等で出荷不能が続き、危機的状況になりました。これをきっかけとして、新たなニーズを発掘して商品のリニューアル企画開発、事業の柱としてジェラート開発などを行っています。

永田様から、イレギュラーに対する想像力が重要であり、イノベーションは組織活動を永続させる手段ではあるが変えていいものと変えてはいけないものがある。また、やらかした後悔は日々小さく、やらなかった後悔は日々大きくなる、だから思慮深く、意思を持った行動をしていくとお話がありました。

#### <閉会式>

北専各連の浅井洋子副理事長から、昨日の講演ではもっと努力を、本日の講演ではイノベーションの必要性、変えて良いもの変えてはいけないものがあること、やった後悔は日々小さくなり、やらなかった後悔は日々大きくなると教わり、私ども専修学校は少子化で大変であります、それぞれ学校が何を訴え、何を継承し、そして生きる人材を社会にどれだけ送れるかが必要であると述べられました。



そして、北見支部の皆さんへの感謝と来年の札幌の研修会での再会を期してご挨拶いただき、閉会しました。

#### ■ 北海道高等学校専修学校連絡協議会

北海道高等学校専修学校連絡協議会は、高等学校と専修学校等との相互理解と連携を目的として、共有する課題等を協議する場として設けているもので、今年度は9月5日に開催しました。北海道高等学校長協会会長の宮澤札幌南高校長など高校関係者10名、北専各連から吉田理事長を始め役員6名、オブザーバーとして道学事課、道教委高校教育課が出席しました。

議題として、2023進路相談会の報告、キャリア教育プログラム、専門学校勉強会、専門学校生の意識調査などを取り上げ、意見交換を行いました。

その中で、高校生の職業観について話題となり、その育成にはキャリア教育プログラムが有効であることや、大学や技専に比べ就業等に関する専門学校の良さなどについて意見が出されました。

## ■ 北海道私立専修学校各種学校教員能力認定研修会

(北海道私立専修学校各種学校教員能力認定委員会)

令和5年7月24日(月)～28日(金)・31日(月)の6日間、北海道中小企業会館プレスト1・7において、北海道私立専修学校各種学校教員能力認定研修会が開催されました。

この研修会は北海道私立専修学校各種学校教員能力認定委員会が主催し、私立専修学校各種学校教員の資質の向上と優れた教員の確保に資することを目的に毎年開催しています。



令和5年度は、会員校以外も含め25校から延べ243名の受講をいただきました。コロナの影響で取りやめていたグループワークも行いながら研修が行われ、皆さん意欲的に受講されておりました。

次年度も引き続き開催を計画しておりますので、多くの教職員並びに教員を志望する皆さまの受講をお願いいたします。

### 受講実績

研修科目	講 師	受講者		
		受講者	教員	学生
教育概論	札幌学院大学 准教授 井上 大樹	30	20	10
教育心理学	EWS 感性科学研究所 代表 北守 昭	18	10	8
教育方法論	北海道教育大学札幌校 准教授 前田 賢次	25	16	9
青年心理学	北翔大学・北翔大学短期大学部 学長 山谷 敬三郎	21	13	8
教育制度論	北海道大学 名誉教授 木村 純	34	24	10
職業教育論	プランナー・コピーライター 加賀 千登世	24	15	9
専修学校教育論	学校法人吉田学園 学園長 大山 節夫	33	23	10
総合自由科目Ⅰ	オフィスレアリーゼ 代表 神田 裕子	30	20	10
総合自由科目Ⅱ	北海道クリエイティブ(株)代表取締役 吉田 聡子	28	20	8
合 計		243	161	82

## ■ 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会



職業実践専門課程の認定要件である「教員に対する研修・研修機会の確保」のため毎年実施している研修会で、教育に役立てることができるテーマを設定して開催しています。

第1回は令和5年8月1日(火)ACU-A(アキュ)において、220名が参加して開催され、北海道クリエイティブ(株)代表取締役で教員能力認定研修会の講師も務めている吉田聡子氏をお招きし、「心動かす価値が未来を変える～持続可能な組織・地域をつくるために～」と題して講演をいただきました。

吉田様からは、人々に共感を呼ぶ組織の持つ企業価値を見だし、その価値について心を動かす伝え方を実践し、持続可能な組織を作っていくことについて、道内の様々な事例を通じて紹介いただきました。

## ■ 北海道高等技術専門学院との競合解消に関する連絡協議会

令和5年8月28日(月)に道経済部と北海道高等技術専門学院と専門学校の競合解消に向けた協議会を開催しました。道からは、自動車整備科の一部を3級整備整備士養成に転換する考えが示されましたが、学科競合や新卒者の入校割合が高いことなど隔たりは大きく競合の解消が図られていません。引き続き、協議を進めて参ります。



## 》》 広報事業

### ■ 2024進学ガイド・仕事ガイドの発行



「進学ガイド・仕事ガイド」は高校生等が進路選択や学校選びを行う際のガイドとして、仕事ガイドと合冊で刊行しております。

2024の仕事ガイド・仕事ガイドは、仕事ガイドに「専門学校進学の特長」を新たに記載するなど充実した内容となっております。

既に全道の高校・中学校と東北の高校に配布しており、追加配布の希望も多く寄せられているところです。

掲載校実績（複数分野の場合、最初の分野でカウント）発行部数:13,000部

分野	工業	農業	医療	衛生	教育・ 社会福祉	商業 実務	服飾・ 家政	文化・ 教養	各種 学校	計
2024	10	1	15	8	9	6	2	5	1	57
2023	9	1	15	8	9	6	2	5	1	56

## 》》 部会だより

### ■ 動物部会

動物部会令和5年度教員研修会が令和5年8月8日(火)に札幌どうぶつ専門学校で5校39名の教員が出席して開催されました。講師に池上学院高等学校理事長・校長池上泰代様、教頭伊藤弘一様をお招きして「通信制における池上学院高校の取組み」と題して、ご講演をいただきました。



## 》》 支部だより 支部の活動やイベントなどを紹介するコーナーです。

※事務局に支部や会員校の話題や情報をお寄せください。

### ☆札幌支部☆

#### [キャリアプランニング講座が始まりました]

今年度から札幌市の委託事業として、キャリアプランニング講座が始まりました。中学生が専門学校で職業体験を行う「次世代人材職業体験推進事業」のスキームを活用し、札幌市内の公立中学校の3年生を対象に、授業の一環として進路探求学習（キャリア教育）の更なる充実を図ることを目的に実施されます。今年度は、試行として2学期に6校、約800名の生徒が受講することになっております。

## ≫≫ お知らせ

### ■ 研修会等のお知らせ ♪多くの方の参加をお待ちしています♪

- ◇ 文部科学大臣認定「職業実践専門課程」に係る研修会（第2回）
  - 開催日時 令和5年12月21日（木）14：30～16：00
  - 開催場所 札幌ガーデンパレス2階 鳳凰（札幌市中央区北1条西6丁目）
  - 講師 新保 元康氏（NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長）
  - 演題 「未定」
  - 受講料 無料
  - 申込 ※11月中にご案内します。

## ≫≫ 行政情報

北海道議会令和5年第2回定例会で令和5年度専修学校関係予算が議決されました。主な予算は次のとおりです。

- 管理運営対策補助金単価(学生1人あたり)
  - ・高等課程（技能連携） 66,960円(前年度比1.1%増)
  - ・高等課程（通常） 42,312円(前年度比1.1%増)
  - ・専門、一般課程 27,699円(前年度比1.1%増)
  - ・職業実践専門課程加算 3,710円(前年度同額)
- 教職員退職資金給付事業補助金 31,309千円(措置率25.72/1000)
- 職業実践専門課程教員研修事業補助金 2,000千円(前年度同額)
- 次世代人材職業体験推進事業補助金 40,000千円(前年度同額)

## ≫≫ 北海道学校法人立専修学校協会

令和5年9月14日(木)に第2回理事会を開催して、令和6年度の要望事項を議決しました。

- 国に対する要望事項
  - ・既存の大学等に準じた新たな財政支援措置
  - ・職業実践専門課程の着実な推進、高等課程に対する職業実践専門課程と同様の財政支援措置
  - ・恒久的な災害復旧補助制度の創設
- 道に対する要望事項
  - ・管理運営対策補助金の増額
  - ・高等課程に対する支援の拡充
  - ・教職員退職資金給付事業補助金の増額
  - ・職業実践専門課程教員研修事業補助金の継続
  - ・次世代人材職業体験推進事業補助金の増額

発行日/令和5年9月29日

発行人/吉田 松雄 編集人/笠島 史生

住所/060-0001 札幌市中央区北1条西6丁目 札幌ガーデンパレス内

電話/011-242-1955